

【2023年度】児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフみなど
------	---------	------	------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動遊びが十分に行えるように広さを確保し、児童が安全に活動できるよう利用定員を順守しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		利用定員に応じた適切な人員配置を行っています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		運動遊びを行うスペースと、机上の活動を行うスペースを分けています。	視覚的な表示を行い、分かりやすく伝える工夫を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃や消毒を行い、清潔な空間となるように心がけています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	業務の実行にPDCAサイクルを用いて、遂行しています。	業務改善の為の目標設定は行えていないので、月ごとや半期ごとに業務改善目標を立てて、実行していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートに記載された意見を真摯に受け止め、改善方法を検討しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年アンケート及び自己評価を行い、ホームページ上で公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各種研修を社内で行うとともに、外部研修を受講しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングや支援計画の更新ごとにアセスメントを行い、課題分析を行い、計画作成をしている。直接お話をする機会をなかなか持てない保護者様にも対応するため、googleフォーム等を活用しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		S-M社会生活能力検査などを使用し、子どもの状況把握に努めています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインを基に、子どもの状況に応じた支援項目を選択しています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		担当者会議において支援計画の確認を行い、計画を基に支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		事業所スタッフが話し合いを行い、日々の活動の計画・立案を行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの楽しみを保証するため、新しい活動を取り入れるなど、固定化しないように心掛けています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どものアセスメントを行い、それぞれの課題に応じて、活動を組み立てています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて、毎日の業務や子どもの確認や引継ぎ事項などの打ち合わせを行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務終了後は、必ず終礼を行い、引継ぎ事項の確認、支援の振り返り、気づきの共有を行っています。	
関係機関や保護者との連携	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援記録はシステムを使い、記録し、データでの保管を行っています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月、担当者会議を開催し、子どものモニタリング、支援計画の見直しを検討しています。	
	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者及び、ケース担当者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		区の子育て支援室の担当者との連携は、少ない状況です。	子どもや家庭の状況、ケースに応じて子育て支援室との連携を深めていきます。
関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			看護師の配置がない為、利用受け入れが困難な状況です。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			看護師の配置がない為、利用受け入れが困難な状況です。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25		○		並行利用している方はいますが、移行支援を目的とした連携、共有は行えていません。
	26		○		並行利用している方はいますが、移行支援を目的とした連携、共有は行えていません。
	27	○		外部機関の研修に参加するなど、積極的に繋がりを作っています。	
	28		○		地域の公園等で交流の機会を作っています。
	29	○		区の自立支援協議会の事業所連絡会に参加しています。	
	30	○		日々の利用での送迎時に、事業所での様子をお伝えし、家庭での状況の確認に努めています。	
	31	○		ペアレント・トレーニングは行っていませんが、子どもへの関わり方など伝えています。	
	32	○		契約時に説明を行っています。	
保護者への説明責任等	33	○		ガイドラインに記載の支援内容を参考に支援計画を作成しています。	
	34	○		定期的な面談や送迎時に悩み等をお伺いし、対応しています。	
	35	○		保護者同士が集まれる機会を検討しております。	コロナ禍の前には、保護者同士集まる場を開催しておりました。再開に向けて検討しています。
	36	○		担当者を設け、保護者からの相談窓口を設置しております。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	ブログを行っておりますが、記事の更新が遅くなっております。新たな媒体の検討を進め、
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報の持ち出しを禁止し、個人情報の保護に努めています。
	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	絵カードや写真など視覚的に伝達をするなど配慮を行っています。
	40		○	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	事業所に地域住民を招待することは行っていません。
非常時等の対応	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	各種マニュアルを作成し、事業所相談スペースに掲示しております。また様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。
	42	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	定期的な避難訓練を実施するとともに、マニュアルの見直しを図っています。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	アセスメントを行い、児童の服薬状況やてんかん発作等の状況確認を行っています。
	44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物アレルギーのある児童については、アセスメントを通じて把握し、特別な配慮が必要な場合には医師の指示書の提出を求めています。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット報告書の作成に努め、ヒヤリハット事例を収集しています。
	46	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待を防止するため、人権研修、虐待防止研修を行っています。
	47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	アセスメントやモニタリングを通じて身体拘束の必要性、実施方法の検討を行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。